■GGG+フォーラム2017　UHCとSDGsの実現に向けて

■2017年10月10日開催（ルポール麹町）

■参加者

世界エイズ・結核・マラリア対策基金（Global Fund）、Gaviワクチンアライアンス、グローバル・ヘルス技術振興基金（GHIT）、国会議員、総理大臣官邸、外務省、厚生労働省、独立行政法人国際協力機構（JICA）、ケニア国政府、国際機関、民間企業、アカデミア、ポリオ患者等

■内容

2016年5月に発表された「国際保健のためのG7伊勢志摩ビジョン」において「公衆衛生上の緊急事態への対応強化のためのグローバル・ヘルス・アーキテクチャーの強化」および「強固な保健システム及び危機へのより良い備えを有したUHC（ユニバーサルヘルスカバレッジ）の達成」が謳われた。これを受けて開催された今回のフォーラムで参加企業が感染症予防に対する民間の貢献について説明した。民間資金投入・官民連携の重要性が確認された。ポリオ患者は障がい者の医療へのアクセス向上について期待を述べた。国際協力機構（JICA）や外務省は、食と栄養のアフリカ・イニシアチブ（Initiative for Food and Nutrition Security in Africa: IFNA）ならびに職場の食事を通じた工場労働者向けの栄養改善活動についての官民連携の最近の取組を紹介した。「誰一人取り残さない」という観点から保健サービスへのアクセス改善・UHC推進の重要性も共有された。